



なかなか貯まらない 貯金って…

節約はしているけど、
なかなか増えない貯金。
将来は不安だけど
なんとかなるさと思って
みたり



お給料には 税金が含まれている

総支給額と手取りの差
なぜこんなに引かれるの？
ちゃんと知ろうとしなかった。
税金のことを理解すれば
いろんな対策できるのに



世帯年収で 考えるということ

主人の
「給料、残業、賞与、退職金」
妻の
「給料、扶養控除額、税金」
世帯で考える家族の年収

老後のこと そろそろ考えたい

老後のお金
どれだけ貯めても不安。
それは…
どんなお金がどれくらい
老後に必要か知らなかった



私は知らない お金の育て方

貯金、投資、運用…
お金を増やすキーワード
でも…
お金を育てるって考え方は
自分の中になかった



教育資金

もっと前に
教えて欲しかった

教育にお金がかかり
初めて知った…高いこと。
お金の準備だけでなく
やり方は他にもたくさんある



社会人になる

就活に必要なお金

憧れの仕事・安定企業
初任給・ボーナス・福利厚生
そこ重視？
30年以上働くんだもの
知っておくべきお金の話

2018年 開校
【松本校】【長野校】

将来、安心して笑って暮らすための

お金の学校

私たちは、お金が何者なのかを

学校で教えてもらうことがありませんでした。

お金のことを知らないまま大人になってしまった私たち

将来の自分や家族の笑顔をつくるのに

“お金”は切り離せないもの。

開校記念イベント

一日限定 **特別講座**

【日時】 10月26日(木) 19:00～20:45

【場所】 長野県松本市内
(詳しい会場はお申し込み後メールでご案内いたします)

【受講料】 1,000円(税込)

【お申込】 裏面の申込書をご利用ください

そんな思いから「お金の学校」を運営しています。

誰も教えてくれなかった「お金が何者か」

誰でも理解できる「お金の学校」


2018年、長野県でも開校します。



はなきりん

お申込み書

下記ご記入の上、郵送または FAX、メール添付にて下記事務局までお送りください。FAX.06-6366-8702

ふりがな お名前		
電話番号	メールアドレス	
ご住所		
申込み講座	<input type="checkbox"/> お金の学校 一日限定 ー特別講座ー	
お支払い	お支払いは初回受講日当日に現金でお支払いください。 受講料：1,000 円（税込）※テキスト進呈 お申し込み後、メールで受講案内いたします。	メルマガ登録 <input type="checkbox"/> 上記メールアドレスで登録する ※WEB から登録の際は右 QR コードから
		

※上記のお申込みは一日限定ー特別講座ー専用のお申込用紙となり、下記のー基礎講座ーへ本講座受講者さまを優先的にご案内いたします。



全8回「通う学び場」

お金の学校 [基礎講座]

カリキュラム内容

- 第1回 「生きる」と「お金」の関係
- 第2回 子どもにかかるお金
- 第3回 家賃・住宅ローン・同居、お家のお金
- 第4回 老後に必要なお金を数字で知る
- 第5回 お金の育て方 - 基礎知識 -
- 第6回 保険会社が教えてくれない保険の話
- 第7回 相続と贈与の基礎知識
- 第8回 生涯の家計設計図づくり

概要

学校の目的	お金は何者かを知り、 将来の「お金の設計図」が作れるまでの基礎知識の習得
講師	はなきりん認定講師
定員	未定
受講料	1講座 / 1,000 円（税込） ※別途全講座共通テキスト（400 円税込）をご購入いただきます。

※詳しい授業日時は、改めてメルマガ及びはなきりん WEB サイトでご案内いたします。

受講体験者の声

Oさま（30代・女性）

会社の体制が変わり退職してパートに転向しようかと考えてましたが、それが大きな間違いだと気付けたのがありがたかった。間に合ってよかった。

Tさま（30代・男性）

投資や運用は博打だと勘違いしていたことがわかった。ルールを守れば安全だということが何よりの収穫でした。お金の育て方は本当に必要な学びです。

Yさま（40代・女性）

家計簿をつけてなかったことが問題だったんじゃないかと、お金の種類も知らず、将来のことも考えない事の方が間違っていたことを知り、将来の不安が軽減されなんとかなりそうだと感じました。

Mさま（50代・男性）

もっと早くこの学校を開校してほしい。子どもの教育資金は想定外に家計の負担になり、学資保険に何を求めているのかと反省しました。下の子どもには仕切り直しです！

Tさま（60代・女性）

私たち夫婦が亡くなった後、子ども達が相続のことでめめないよう考えなくてはと、参考にさせていただきたく受講いたしましたが、何もして来ずに来た原因が夫婦のことを考えずにいたことだと知り、目からうろこが落ちました。

一般社団法人暮らし振興支援機構 事務局

〒530-0047 大阪市北区西天満 1-8-9-407 TEL 06-6366-8701

ホームページ / <http://hanakirin.or.jp>

※お電話でのお問合せ、お申し込みは平日 9:00~17:00

FAX 06-6366-8702

MAIL info@hanakirin.or.jp